

## 一級土木の合格者は9424人

全国建設研修センターは1月16日、2017年度1級土木施工管理技術検定試験(実地試験)の合格者を発表。17年度試験は前年度を3568人上回る3万1414人が受験し、9424人が合格した。合格率は30%だった。女性合格者数は前年度比44.3%増の723人。年齢別では、29歳以下が1940人で全体の20.6%を占めている。合格者に女性が占める割合は7.7%で、03年度以降で最も高かった。

## 主任技術者要件に基幹技能者

国土交通省は、主任技術者要件に認められた登録基幹技能者について、登録基幹技能者の各職種が対応する建設業許可業種を決める。建設業法施工規則に基づく告示案(表)として、登録基幹技能者の全33職種ごとに、主任技術者資格を満たす許可業種を整理し、意見募集を始めた。告示は4月1日試行予定。

全33職種のうち、橋梁、トンネル、海上起重、標識・路面標示の4職種は複数業種における実務経験の合算が10年以上となれば登録基幹技能者講習の受講要件を満たすため、単独業種で10年以上の実務経験が必要な主任技術者より実務経験の要件が低い。このため、今後これら4職種の登録基幹技能者講習では、受講資格として単独業種で10年以上の実務経験があることを求める。また、告示の施行前に登録基幹技能者となった場合は、単独業種での実務経験が10年を超えた時点で主任技術者要件を満たす者として扱う。

主任技術者要件に認定されたことで、施行管理技士などの国家資格を持たず、実務経験年数(10年以上)で主任技術者となる登録基幹技能者は、経歴書の代わりに登録基幹技能者の講習修了証を提示すれば、主任技術者としての実務経験を証明できるようになる。

年度	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年
府県導入数	2	3	5	5	9	13	15
導入率	4.3%	6.4%	10.6%	10.6%	19.1%	27.7%	31.9%

**[登録基幹技能者]**  
 ①10年以上の実務経験  
 ②3年以上の職長経験  
 ③資格の保有  
 (最上級の技能者資格等)

**[資格者数]**H28.3月末  
 33職種(43機関)  
 51,660名

## 建設技能 映像で習得

国土交通省は、建設現場で求められる技能や後進への指導方法を習得できる映像コンテンツを作成する。基礎的な技能、職長に求められる技能、後進の指導方法に関する映像コンテンツをそれぞれ作成。現場を離れることが難しい技能者が遠隔地でも技能訓練を受けることができるように、専用サイトを立ち上げてウェブ上で映像を公開する。2017年度補正予算案に事業費9000万円を計上。建設業に求められる技術・技能入職後に学び直す「建設リカレント教育」の一環。基礎的な技能や指導方法を習得できる研修プログラムを作成し、金銭的・時間的な制約がある技能者が継続的に教育訓練を受けることができるよう、映像コンテンツにまとめる。

### 基礎的な技能習得のための映像

22職種

それぞれの一連の作業実演  
 作業ポイント・注意点の解説

### その他

指導方法マニュアル  
 後進に対する指導例や  
 体験談もコンテンツに

### 職長として必要な技能習得のための映像も作成

とび工 鉄筋工 型枠大工  
 電気工 内装工 塗装工

### 6職種

一連の作業手順と各手順  
 (品質・安全・作業効率の観点  
 からのポイント)の整理

## 18年度の建設投資費 53.39兆円

建設経済研究所と経済調査会が建設経済モデルを用いて建設投資を予測したところ、2017年度の建設投資(名目値)の推計が前年度比1.8%増の53兆4000億円、18年度の建設投資費が同比0.0%の53億3900億円となった。

17年度の政府建設投資は16年度補正予算の執行による一部出来高の実現を想定し、前年度比3.3%増の21兆7800億円、18年度は16年度補正予算と17年度補正予算案の執行による一部出来高の実現を想定して0.1%増の21兆8000億円になると見込んでいる。

一般社団法人 静岡県建設コンサルタンツ協会  
 富士山の体積をはかる!



富士山の体積をはかる!  
**「アイデア」大募集!**  
 応募締切: 2018. 2. 23(金) 17:00必着  
 静岡県建設コンサルタンツ コンテスト  
**CON!CON!**  
 DOBO CLUB  
 静岡どぼくら

下記アドレスHPです。ぜひ一度アクセスくださいませ!  
<http://www.sz-cca.com/topics/topics20180115.html>

## 登録基幹技能者の活用例

### ○発注者における公共工事での評価・活用条件

登録基幹技能者の公共工事の総合評価式における評価・活用は、国土交通省では、全ての地方整備局で導入。都道府県では15道府県で導入。(平成27年度時点)

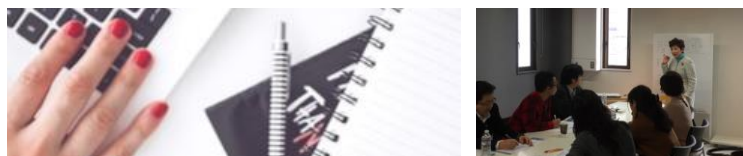
### ○元請企業における評価・活用状況

日建連では「優良技能者認定制度」を導入し、優秀な職長に手当てを支給しており、導入している27社のうち「登録基幹技能者」を認定基準としている元請企業は20社。

現場とオフィスを

ITスキルとコミュニケーションスキルでつなぎ・支える

2018年1月18(木)、「第3期 建設ディレクター育成講座」が京都サンダー本社2階セミナールームで、スタートいたしました。自己紹介後、グループワークを通じて受講生の皆さまの緊張感もほぐれた様子。第1回目の講義は、今後、専門知識を理解する基礎を固めるための時間となりました。1月25日(木)に行われた第2回講義では、「人を伸ばすためのコミュニケーション」とは何かを学びました。第4期建設ディレクター育成講座は、5月から開講予定です！



<https://www.knowledgebx.com/kensetsu-director>

京都サンダーセミナー報告

鳥取県労働局委託事業

建設業のための魅力ある職場づくり実践セミナー

鳥取県労働局委託事業「建設業のための魅力ある職場づくり実践セミナー」で、弊社スタッフが講師を勤めました。「若者の定着と人材育成」をテーマに、ITに囲まれた若者の特徴、新教育担当者支援やキャリアプラン作成の重要性についてお話をさせていただきました。大雪にも関わらず、始業時刻に集まって下さった皆様の様子を通し、改めて建設業における学習に対する姿勢を学ばせていただく時間となりました。



CPDS 7ユニットセミナー開催

～3回シリーズ～ 技術者向けのセミナー開催決定！

第1回：5月11日(金)

「建設現場の若手職員定着に向けたリーダーシップセミナー」

第2回：7月4日(水)

「工事成績評価アップ対策セミナー」

第3回：8月24日(金)

「現場代理人の折衝力強化セミナー」

詳細は  
近日、お知らせ  
いたします！

国土交通省

「建設業女性活躍推進相談窓口」 無料

国土交通省の「建設業女性活躍推進相談窓口」が3月30日までの期間限定で開設。女性の採用や定着に関連し、実務に精通した専門家が相談対応します。ご利用は無料ですので、ぜひご活用ください。

<https://www.yoi-kensetsu.com/jyokatsu/>

第5回 建設産業女性活躍セミナーin大阪

建設現場へGO！

－ 見る、知る、働く、建設産業のJobポータル －

第5回建設産業女性活躍セミナーが平成29年11月17日に開催されました。建設業ディレクターの提唱など建設業の女性活躍について取り組む弊社からも、田辺直子がパネラーとして登壇しました。パネルディスカッション「建設産業において、さらなる女性の入職及び定着を促進するためには」では、自身の経験もふまえ、女性が働くことの喜びや課題についてお話させていただきました。下記URLにて記事が公開となりましたのでぜひご覧ください。

[http://genba-go.jp/content\\_category/3370/](http://genba-go.jp/content_category/3370/)

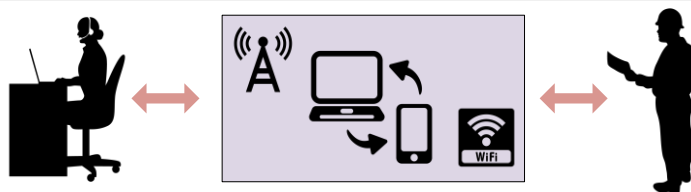
国土交通省

映像記録を活用した監督・検査試行

映像記録を活用一臨時確認や写真撮影の代替に、国土交通省では、施工状況の確認作業の効率化などを目的に、段階確認や出来形管理、写真管理といった施工管理に映像記録を活用する試行工事を実施する。ウェブカメラなどによる映像記録が、現行基準に基づく臨場確認などと同程度の確認ができるかどうかを検証する。試行工事の対象は、▽組み立て(コンクリート構造物の鉄筋工)▽アスファルト舗装工(下層路盤工)(ブルフローリング)▽同(上層路盤工)(基層、表層)▽既製杭工(鋼管杭)▽その他(安全管理、事故報告)一の5工種。北海道開発局、沖縄総合事務局を含む整備局で実施予定。

シリーズ ～ 建設業のICT・IoT ～

”映像を活用した現場管理の研究会”



中小零細企業が手軽に取り組むことができる(購入できる・操作できる)映像活用を追求する研究会に事務局サポートとして参加しました。建築、土木の現場でネットワークカメラや、モバイルを実装した、遠隔での映像による情報活用、また、ICTツールによる省力化や、クラウドを利用した現場とオフィス双方向の情報共有を体験。映像活用化は、高齢化や担い手不足の解消、技術流出の防止につながります。中小零細の建設業の生産性向上、省力化、効率化の実現がそう遠くはないと実感しました。京都サンダーでは、ICTやIoTで現場とオフィスがリアルタイムでつながることにより、建設ディレクターの円滑な業務を実現するための、多様なツールの活用法についてご提案してまいります。

